横浜市立上矢部小学校　学校だより　　令和5年11月30日

やまゆり　12月

上矢部小学校ホームページ

学校教育目標　**大地に根をはり　共に伸びよう　天までとどけ**

☆欠席連絡は、連絡帳かマチコミメール（朝 8:00 まで）、それ以降は電話でお願いします　☆朝学校に着くのは、8:10～8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません　☆帰宅後の外出は５時までです　☆放課後の学校への電話連絡は１７：４５までにお願いします

「1.01」と「0.99」

教務主任　高田　健太郎

保護者の皆様及び地域の皆様におかれましては、日頃より上矢部小学校の教育活動を見守ってくださり、ありがとうございます。12月に入りますと、個人面談、学校評価、いじめ解決一斉キャンペーン、学校運営協議会等がございます。今後とも、学校とのさらなる連携を宜しくお願い致します。

さて、先日、授業の際に6年生の教室に入ったところ、「1.01と0.99の法則」という掲示物が目に入ってきました。

この法則について、かつて NHK「プロフェッショナル　仕事の流儀」に出演して反響を呼んだ教育実践家（元小学校教員）・菊池省三さんが、著書で紹介されていたのを思い出しました。（もとは経営者の三木谷浩史さんのお考えのようです。）ほんの少しの努力とサボりが、やがて大きな差を生むという趣旨の法則です。以下、少しややこしい話ですが、お付き合いください。

1.00 を基本だとして、少しでも頑張れば「+0.01」を、少しサボれば「−0.01」として設定します。次に 1.01 に 365（1 年間の日数）を乗算させた結果と、同じように 0.99 に 365 を乗算させた結果を比べます。そうすると 1 年間で明らかな違いが数字として浮かび上がります。1.01 と 0.99 はたった 0.02 しか違いません。しかし、その違いを積み重ねていくと、結果的に歴然とした差が出てくるという考え方です。細かい計算は次の通りです。

1.01 の 365 乗	＝ 37.78…
0.99 の 365 乗	＝ 0.03…

0.01という、ほんの少しの努力や成長を1年365日積み重ねていくと、大きな力「37.78」になります。しかし、0.01という少しのサボりを1年365日積み重ねると、「0.03」となり、そこには積もり積もって38程もの差がついてしまいます。「1.01」と「0.99」、日々の僅か「0.02」の差が、1年後に大きな成長の差を生み出すかもしれないのです。

とは言え、子どもにとって（大人にとっても?）、「少しの努力の継続」と言っても、そう容易いことではないでしょう。1.01の日もあれば、0.99の日もあるに違いありません。しかし、学習でも生活の中にでも、自分で決めた日々の「1.01」を可能な限り積み重ねていってこそ、1年後に成長した姿が見られるのではないでしょうか。

上矢部小学校においても、子ども達の日々の「1.01」の頑張り、努力をさらなる成長につなげられるよう、職員一同、支援、応援していきたいと思います。